2016・2017年版

香川のすがた

Economy and industry of Kagawa

屋嶋城より高松市市街地を望む

一般財団法人 百十四経済研究所
Hyakujushi Economic Research Institute

2016・2017年版

香川のすがた

CONTENTS

第1部 香川の経済

1 香川県の概要
- 香川県の地勢 2
- 香川県の行政区画と産業基盤 2
- 香川県の経済規模 3
- 指標でみる県民の暮らし 3

2 県内総生産
- 県内総生産の推移 4
- 県内総生産でみる香川県の産業構造 5

3 県民所得
- 県民所得の推移 6
- 香川県の「１人当たり県民所得」は全国26位 7

4 経済成長と景気動向
- 経済成長率（平成25年度まで） 8
- 景気動向（平成26年度以降） 8
- 景気循環 9

5 主要経済指標
- 個人消費 10
- 生産活動 11
- 設備投資 11
- 工場立地 12
- 公共投資 12
- 住宅投資 13
- 地価動向 13
- 貿易 14
- 企業倒産 14

6 人口と世帯
- 減少が続く人口、進む少子高齢化 15
- 減少が続く「１世帯当たりの人員」 17

7 労働と賃金
- 香川県の就業構造 18
- 雇用情勢 19
- 月間労働時間と月間現金給与 21

8 事業所
- 事業所の現況 22
- １事業所当たり従業者数の状況 23
- 従業者規模別の状況 23
- 市町別の状況 24

9 財政
- 香川県の歳入・歳出 25
- 県債残高の推移と財政の健全性 26

10 家計
- 収入と支出 28
- 貯蓄と負債 29

11 物価 31

第2部 香川の産業

1 農　業
- 全国平均と比べて狭い、農家１戸当たり耕地面積 34
- 進む高齢化、拡大する耕作放棄地 34
- 野菜、鶏の産出額の割合が高い 35
- 農産物のブランド化 36
- ６次産業化 36

2 林　業
- 県土地面積の46.7％が森林 37
- 林業産出額は33億３千万円 37
- 高い外材依存度 38
- 県産木材の利用促進 38

3 水 産 業
- 海面養殖業の生産が６割を占める 39
- 高齢化が進む漁業就業者 39
- ブリ類とノリ類の海面養殖の割合が高い 39
- 水産加工品の生産量 40
- 水産物のブランド化 40

4 製 造 業
- 県内総生産の19.3％を占める製造業 41
- 食料品が事業所数、従業者数とも最多 42
- 製造品出荷額等では基礎素材型産業が中心 43
- 市町別の製造業の状況 46

5 建 設 業
- 県内総生産の5.3％を占める建設業 48
- 漸減する許可業者数 49
- 建設投資額の推移 49
- 公共工事の目的別内訳 50
- 元請け・下請け 51
- 新設住宅着工 51

6 商　業
- 県内総生産の13.8％を占める卸小売業 52
- 事業所数、従業者数、年間商品販売額、売り場面積とも低調に推移 52
- 県卸売業の年間商品販売額の約７割が高松市に集中 53
- 県小売業の年間商品販売額の約５割が高松市に集中 54

7 サービス業
- 県内総生産の20.4％を占めるサービス業 56
- 飲食店では「そば・うどん店」の割合が高い 57
- 学習塾、書道教授業の割合が高い 58

8 交通・運輸
- 瀬戸大橋等による旅客輸送人員の推移 59
- 瀬戸大橋通行台数（自動車） 59
- 高速道路交通量（香川県内） 60
- 高速バスの輸送人員 60
- フェリーの航送台数 61
- 航空 61
- 貨物輸送の状況 62

9 観　光
- 県外観光客入込数の推移 63
- ４大観光地入込客数の推移 64
- 県外観光客の観光消費金額 64
- 外国人延べ宿泊者数の状況 65

10 金　　融 66
11 貿　　易
輸出の現況 67
輸入の現況 67
貿易収支は21年連続の輸入超過 68
12 海外進出
海外進出拠点の状況「８割がアジア」 69
海外提携拠点の状況「９割がアジア」 70
13 地場産業
香川県の地場産業の現況 71
香川県の地場産業の紹介 73

第3部 香川の地域活性化

1 地産地消 76
2 文化・芸術・スポーツ
高松国際ピアノコンクール 77
さぬき映画祭 77
瀬戸内国際芸術祭 78
地域密着型スポーツチーム 78
3 ニューツーリズム
香川のロケーション撮影地 79
マラソン大会 80
近代化産業遺産 81
現代建築 82
讃岐ジオパーク構想 83
4 広域連携
日本遺産『四国遍路～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～』 84
広域観光周遊ルート 86
城 87
5 ご当地ナンバープレート 88
6 里海づくり 89
7 大　　学 90
8 成長戦略 91
9 地方創生戦略 92

第4部 資料編

香川県の上場企業 96
香川県企業の売上高ランキング 96
香川県の主なニッチトップ企業 97
香川県の産業政策関連年表 97
香川県内の主要大規模小売店舗 98
全国上位の香川県特産物 99
香川県の４大観光地利用状況 99
香川県の主要観光・教育文化施設入場者数 100
香川県の主な年中行事 100
香川県の指標 101
香川県内市町の指標 104
香川の風景 107

01 香川県の概要

香川の経済

香川県の地勢

香川県は、四国の東北部に位置し、昭和９年にわが国初の国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置し、半円形に海に突き出た地形となっている。南部は徳島県と接する讃岐山脈が東西に走り、北に向かって緩やかに傾斜した讃岐平野が開け、河川は瀬戸内海に注いでいる。面積は1,877平方キロメートルと全国で最も狭く、北は瀬戸内海を挟んで瀬戸大橋で岡山県と結ばれ、東及び南は徳島県に、西は愛媛県に接している。海岸線の延長は約700キロメートルで、海面には多数の島が点在し、独特の多島美の景観がみられる。また、平野部も飯野山を代表とするおむすび型の山と屋島を代表とする台形型の山が各所に点在する美しい風景が広がっている。気候は四季を通じて温暖で、１年を通じて晴天の日が多い瀬戸内式気候である。

香川県の行政区画と産業基盤

香川県の行政区画は、長らく５市38町であったが、平成に入り市町合併が進み、平成18年３月から８市９町となっている。県庁所在地は高松市である。人口は高松市に集中し、次いで丸亀市が多い（概要－１、２参照）。

産業基盤のうち、交通ネットワーク網の整備状況をみると、昭和63年に瀬戸大橋が開通し、香川県は本州と道路で繋がった。高速道路網の整備も進み、平成９年には高松市と松山市、翌10年には高知市と高速道路で直結し、平成15年には、高松・鳴門（徳島県）間も全通した。空の玄関「高松空港」は、平成元年に新空港が開港し、現在、国内線は羽田、那覇、成田の３路線、国際線はソウル、上海、台北、香港を結ぶ４路線が運航している。海の玄関「高松港」では平成９年に国際コンテナ定期航路も開設されており、釜山、上海、大連、青島などと結ばれている。

（概要-1）香川県の市町別人口

市町名	実数	構成比
	人	%
高松市	420,943	43.1
丸亀市	110,063	11.3
三豊市	65,566	6.7
観音寺市	59,444	6.1
坂出市	53,197	5.4
さぬき市	50,300	5.1
善通寺市	32,942	3.4
東かがわ市	31,046	3.2
三木町	27,695	2.8
綾川町	23,622	2.4
多度津町	23,382	2.4
宇多津町	18,958	1.9
まんのう町	18,392	1.9
小豆島町	14,870	1.5
土庄町	14,005	1.4
琴平町	9,189	0.9
直島町	3,142	0.3
香川県	976,756	100.0

（注）平成27年10月１日現在。
資料：総務省「国勢調査（人口速報集計）」

（概要-2）香川県の行政区画と高速道路等

香川県の経済規模

香川県の経済的規模を主要経済指標でみると、面積は全国で最も狭く47位（全国シェア0.5%）、人口は全国39位（同0.8%）、世帯数は全国36位（同0.7%）、県内総生産（名目）は全国36位（同0.7%）となっている（概要－3参照）。

(概要-3) 主要指標からみた香川県の経済的規模

項目		単位	全国	香川県	全国シェア(%)	全国順位	調査時点(平成)	項目	単位	全国	香川県	全国シェア(%)	全国順位	調査時点(平成)
面積		㎢	377,971	1,877	0.5	47	27年	県内総生産(名目)	億円	5,086,456	36,470	0.7	36	25年度
人口		千人	127,110	977	0.8	39	27年	農業産出額	億円	83,639	758	0.9	36	26年
世帯数		千世帯	53,403	398	0.7	36	27年	海面漁業・養殖業生産額	億円	14,109	183	1.3	24	26年
普通法人数		社	2,628,476	21,280	0.8	29	26年度	製造品出荷額等	億円	3,051,400	23,714	0.8	32	26年
民営事業所	事業所数	事業所	5,779,072	49,569	0.9	39	26年	卸売業年間商品販売額	億円	3,566,516	20,419	0.6	25	26年
	従業者数	千人	57,428	438	0.8	38	26年	小売業年間商品販売額	億円	1,221,767	10,028	0.8	39	26年

（注）民営事業所数には事業内容等不詳分含む。海面漁業・養殖業生産額には捕鯨業分は含まれていない。
資料：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「国勢調査（人口速報集計）」「経済センサス－基礎調査」、国税庁「法人数」、内閣府「県民経済計算」、農林水産省「生産農業所得統計」「漁業生産額」、経済産業省「工業統計調査」「商業統計調査」

指標でみる県民の暮らし

香川県は、経済規模的には大きくない県ではあるが、県民の暮らし面からみると、恵まれた点の多い県である。有効求人倍率は全国上位にあり、住宅事情も良く、持ち家比率は高く、世帯員１人当たりの居住室畳数も多い。消費者物価は全国平均に比べて低く、生活環境面では人口当たりの大型小売店数、飲食店数や道路密度も全国上位にある。１世帯当たりの預貯金残高は全国３位で、福祉・医療面でも人口当たりの施設数は全国平均と比較すると多い（概要－４参照）。

(概要-4) 香川県の暮らしに関連する指標

	項目	香川 全国順位	香川 数値	香川 単位	全国平均	調査時点(平成)		項目	香川 全国順位	香川 数値	香川 単位	全国平均	調査時点(平成)
土地・人口	日照時間	22	1,975.9	時間	1,977.5	26年	住居	持ち家比率	18	70.3	%	61.9	22年
	可住地面積比率（総面積に占める）	10	53.6	%	32.9	26年		居住室畳数（世帯員１人当たり）	9	15.29	枚	13.54	25年
	人口密度（１㎢当たり）	11	522.8	人	340.7	26年	生活環境	大型小売店数（人口10万人当たり）	6	6.0	店	4.2	26年
	合計特殊出生率	9	1.64	人	1.46	27年		飲食店数（人口千人当たり）	10	4.34	店	4.05	26年
福祉・医療	生活保護率（人口千人当たり）※	20	11.7	人	17.0	25年度		公害苦情件数（人口10万人当たり）※	17	35.2	件	40.8	26年度
	地域子育て支援拠点設置か所数（乳幼児人口千人当たり）	6	2.07	か所	1.25	26年度		都市公園等面積（都市計画区域内等人口１人当たり）	6	18.14	㎡	10.21	27年
	介護老人保健施設普及率（老年人口千人当たり）	13	12.3	人	10.0	26年		道路密度（１㎢当たり）	4	1,029	m	496	26年
	病床数（人口10万人当たり）	16	1,539.4	床	1,234.0	26年		自動車保有台数（人口千人当たり）	19	793.9	台	634.8	27年
	医師数（人口10万人当たり）	12	281.5	人	244.9	26年	安全	刑法犯認知件数（人口１万人当たり）※	26	71.72	件	85.71	27年
	救急病院数（人口10万人当たり）	4	5.1	施設	3.0	26年		交通事故発生件数（人口10万人当たり）※	44	797.38	件	422.48	27年
労働	有効求人倍率	8	1.34	倍	1.11	26年度		自然災害被害額※	9	1,396	百万円	8,347	26年
	県内就職率（高卒就職者）	16	87.9	%	81.6	27年	教育その他	幼稚園就園率	14	57.9	%	53.5	27年
	現金給与総額（常用労働者１人平均月間）	24	324,634	円	363,338	26年		図書館館外貸出点数（人口100人当たり）	6	618	点	542	25年度
	労働時間（１人平均年間総実労働時間）※	27	1,838	時間	1,788	26年		県民所得（人口１人当たり）	26	2,798	千円	3,065	25年度
家計	預貯金残高（１世帯当たり）	3	16,278	千円	12,475	27年		財政規模（人口１人当たり）	27	426,805	円	395,140	26年度
	消費者物価地域差指数（全国平均=100）※	20	98.5	－	100.0	27年		地方債残高（人口１人当たり）※	27	876,659	円	704,933	26年度末

（注）※は数値の小さい順に並べてある項目（逆サイクル指標）。
資料：香川県「100の指標からみた香川（平成28年版）」等より作成